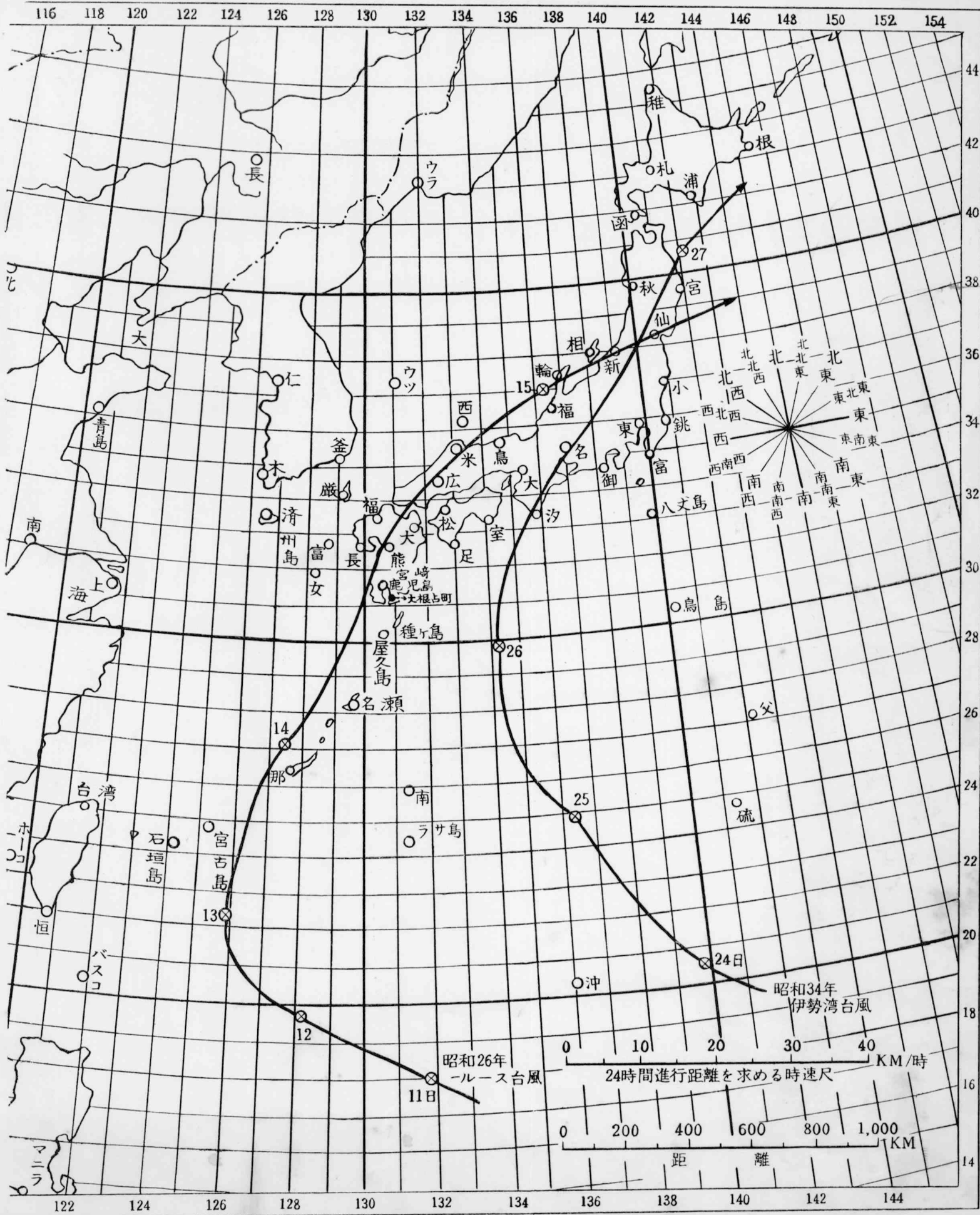


※

八月から九月にかけては、特に台風が接近または上陸する時期であります。そこで大根占町といたしましては福岡管区気象台から資料をもとめ、右のとおり、災害が発生した場合の防犯心得と経路図を編集し、町民みなさんの家庭に配付いたしましたから、見やすいところにより、台風情報が出たら経路図をかりて台風の動きに注意してください。



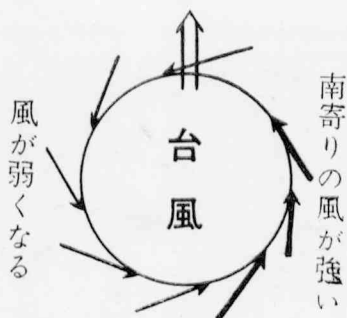
この図は見やすいところに貼ってください

防 災 心 得

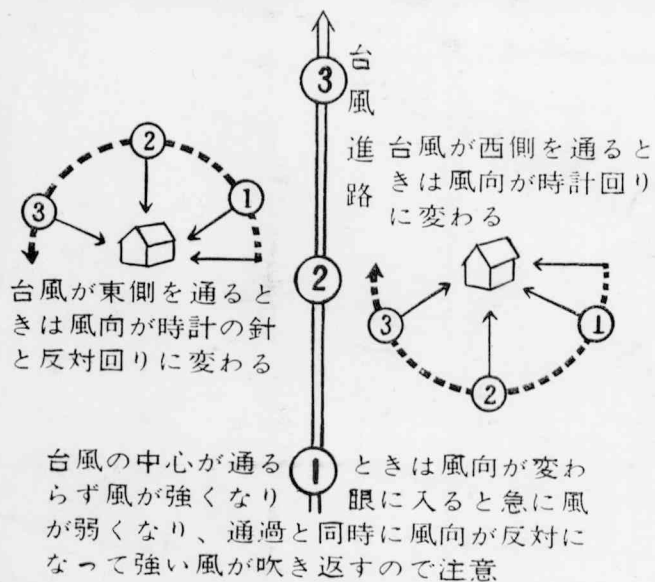
台風が自分の西側を通つたら危険

台風の右側で中心から50~100km位のところが、一番風が強い。

台風が北へ
進む場合の風の
分布は右図の
とおりです→



風向の変わり方で台風予報



雷を避けるためには

- ◎ 屋外は屋内よりも危険。やむを得ないときはなるべく姿勢を低くして、ほら穴や、くぼんだところを見つけて避難すること。
- ◎ スキ、カマなどの金物を持たないこと。コーモリ傘をさしたり自転車にのることなども危険。
- ◎ 家の中では、壁、柱などの近くや、電灯の下はさけてなるべく室の中央に低い姿勢でいること。
- ◎ 電灯は引込口でスイッチを切っておくこと。台所、浴場などのしめっている所には入らないこと。
- ◎ 特に入浴や水泳は絶対しないこと。

風速が 15 m/s をこすと被害がでる
 25 m/s をこすと被害が急に増す
 35 m/s 以上になると被害甚大

風が物を押す力、すなわち風圧は風速の2乗に比例するので、風速が2倍、3倍となると風の力は4倍、9倍と飛躍的に大きくなり大きな被害が起こる。

中心の気圧が低いほど 風も雨も強い

暴風半径が小さくても中心の気圧が低いと風は強い。

台風の規模

クラス	中心の気圧 (ミリバール)	最大風速 (メートル/秒)
超 A 級	920 以下	65 以上
A 級	920 ~ 950	50 ~ 65
B 級	950 ~ 980	30 ~ 50
C 級	980 以上	17 ~ 30

局地的な強風や風の息に注意

一般的には30m程度の風でも、山とか川などの地形の影響で、局部的には40m以上になることがあり、予想外の大きな被害が生じる。また風が強いときには風の息が大きく、瞬間的には平均風速の1.5倍位の突風が吹く。

沿岸では高潮に注意

高潮は台風の中心気圧が低いほど、また進行速度が早いほど、また満潮の日時に近いほど、また風向が海岸に直角に近いほど警戒しなければならない。

防 災 の 心 得

1. 台風情報や大雨情報が出たら、海や山への旅行は早目に中止すること。
2. 注意報が出たら、防災対策に着手。窓、雨戸、屋根、へい板の補強、停電、断水に備える。
3. 避難信号が出たら、すぐ立ちのくこと。火元に用心。屋外ではかわらや木が飛んでくる。切れた電線に近づくな。
4. 警報が出たら、避難の準備をすること。食糧その他の携行品は最少限に。堤防、水面の監視。
5. 風雨が弱まったり、水位が下がっても警報が解除されるまでは油断禁物。

風速 (m/s)	風圧 (Kg/m^2)	被害内容
15	27	取り付けの悪い看板がとぶ 小型船注意
20	48	風に向って歩けない 看板がとぶ。弱い塀が倒れる
25	75	屋根がわらがとび、半壊家屋急増 樹木が折れる
30	108	雨戸がはずれる 電柱、煙突が倒れる
35	147	全壊家屋急増
40	192	大型船舶てんぷく
45	243	鉄塔が倒れる